



なのはな



【学校教育目標】

- かしこく
- ゆたかに
- たくましく



馬駆ける 春にあふれる 子の笑顔

校長 嘉手川 満

新年あけましておめでとうございます。

寒さの中にも、こどもたちの元気な声が校庭に響き、活気あふれるたくさんの笑顔の中、3学期がスタートを切りました。冬休みの間、ご家庭や地域で温かく見守っていただいたおかげで、こどもたちが一回り大きく成長して学校に戻ってきてくれたことを、心よりうれしく感じております。



本年は、十干十二支でいうところの「丙午（ひのえうま）」にあたります。「丙（ひのえ）」は、火の兄（ひのえ）とも書き、太陽のように燃え上がる陽の光を象徴し、「午（うま）」は、力強く大地を駆け抜け、物事が最も盛んになる状態を表すそうです。この二つが重なる「丙午」は、古来より「非常に強いエネルギーが満ち溢れる年」と言い伝えられてきました。

学校教育においても、この「勢い」と「エネルギー」は欠かせないキーワードです。社会情勢が激しく変化し、これまでの常識が次々と塗り替えられる予測困難な時代。今、こどもたちに求められているのは、馬が障害物を軽やかに飛び越えていくような「しなやかな強さ」と自らの道を切り拓く「主体的なエネルギー」です。今年も、こどもたちが持つ「よさ」や「可能性」というエネルギーを、力強く引き出していきたいと考えています。教職員一同、こどもたちに寄り添い、共に走り、温かく見守る伴走者として頑張っています。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

「音楽」と「本」の魅力満載！

11/25(火)に、1～4年生対象に、子どもの文化体験事業「アウトリーチ」が行われました。ピアノとサクソフォンの演奏が会場に響きました。こどもたちは、生演奏に魅了。楽しく音楽と触れ合うことができました。

12/12(金)は、3年生対象に、中央図書館の方がブックトークをしてくださいました。様々な本の魅力や楽しみ方を教えてくださいました。

